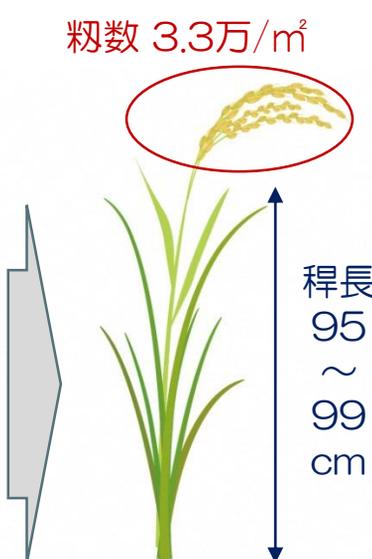


水稻「アケボノ」収量の3割アップを実現

出穂20日前の生育診断

診断に基づく管理

反収700kgを実現する目安

籾数予測 草丈 (cm) × 茎数 (/m ²) × 葉色 (SPAD) ÷ 10,000	稈長予測 (倒伏の危険性) 草丈 (cm)	追肥適期 硫酸、尿素 (窒素成分 2~4 kg /10a)	倒伏軽減剤の使用 □ミカ粒剤 (出穂25~10日前)	籾数 3.3万/m ²  稈長 95 ~ 99 cm
不足 123未満	極小 81以下	⇒ 出穂 10日前	⇒ 不要	
適正 123~143	小 82~86	⇒ 出穂期	⇒ 不要	
やや過剰 143~163	中 87~92	⇒ なし	⇒ 推奨	
過剰 163以上	大 93以上	⇒ なし	⇒ 必須	

開発のねらい

本県の主要品種である「アケボノ」は、業務用米として高い需要があります。そこで、生産農家の所得向上のために、「アケボノ」(移植栽培)の反収を3割増加させる安定多収生産技術を確立しました。

新技術の概要

- 「アケボノ」の県南部での平均反収は、これまで540kgでしたが、品質を落とすことなく700kg穫りを実現します。
- 「アケボノ」の生育指標(出穂20日前の草丈、茎数および葉色値)から、収穫期の籾数と稈長(倒伏)が予測できます。(生育診断)
- 生育診断に基づき、籾数: 3.3万/m²、稈長: 95~99 cm程度になるように管理することで、反収700 kgが期待できます。

活用場面

移植栽培で「アケボノ」を生産する農家が、安定多収を実現することで、農家所得の向上が期待できます。